

松本市市民活動 サポートセンター通信

NO.24

発行元：松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所 2階
TEL/FAX：0263-88-2988
E-mail：support-center@support-center.jp
URL：http://www.support-center.jp

市民活動フォーラム・フェスタ2009 in 松本

“あがたの森文化会館”において開催されました...

9月26日、27日の両日にわたり「市民活動フェスタ2009 in 松本」が開催されました。今年から会場を「あがたの森文化会館」とその周辺の屋外に移し、会期も2日間に拡大しての開催でした。



「市民活動フォーラム」パネリストによるディスカッション

一日目は、あがたの森文化会館講堂で、まず市民活動フォーラムが開催されました。フォーラムでは、NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会事務局長の松原明氏による「NPOのこれまで10年から、これから10年を見つめる」と題した基調講演と、市民活動団体の実践事例発表～フリーディスカッションが行われました。松原氏は「阪神淡路大震災を契機に市民活動が見直されNPO法ができた。これからは市民・行政・企業などが連携し合い一緒に豊かな社会や地域をつくる必要がある」と強調されました。また、夜の“公開市民サロン”では、青少年の居場所や“遊び”について若者と元若者が熱いバトルトークを繰り広げました。

二日目は、秋晴れのもと野外での「交流カフェ」や、赤十字奉仕団による「災害時炊出し訓練」のおにぎり作りや豚汁の無料サービスで賑わいました。



今年の活動紹介は、ブース展示40団体に加え、ワークショップ形式での参加も7団体ありました。まち歩きをし写真を撮りオアシスマップを作ったり、周辺の史跡めぐりをして松本の魅力について参加者と共に考えるなど、ユニークな活動紹介もありました。また、若手農業の担い手たちによる農業問題についてのフリートークや、「マイはし」作りの体験、人権教育プログラムなど専門的なワークショップもあり、一般参加者からも充実した体験ができたという感想をいただきました。



しかし、一方で、秋のイベントが重なって展示ブースは人がまばら。折角の展示を多くの方に見ていただけなかったことは、とても残念です。市民活動という取っ付き難い領域にいかにか足を踏み入れてもらうか...今後この課題に市民活動団体の皆さんと共に取り組んでいきたいと思ひます。

～お知らせ～

市民団体向けブログセミナーを開講します！
やってみよう、ブログ！ 増やそう、仲間！
自分でブログを作って、情報発信してみませんか？

- ・12月2日(水) 18:00～21:00
- ・12月3日(木) 18:00～21:00
- ・1月16日(土) 9:30～12:30
- ・1月16日(土) 13:30～16:30

各回共同様の内容です。詳細は当サポートセンターへ

2009フェスタを振り返る会

今回のフェスタについて、多くのみなさんと感想を語り合ひましょう

日時：12月11日(金) 18:00～19:00

場所：市民活動サポートセンター

ご出席の方はサポートセンターまでご連絡下さい

二次会も企画中です。

二次会からの参加もお待ちしています

このコーナーでは、松本市近郊でさまざまな活動をしている団体をご紹介します！！
今回、お話をうかがったのは、「**蟻ヶ崎西町会**」と、「**持続可能な松本平創造カンパニーわおん**」の両団体です。

蟻ヶ崎西町会

連絡先 蟻ヶ崎西町会
町会長 藤森 昭三

住民自らの様々な取り組みが行われている蟻ヶ崎西町会の活動について、前町会長の福島昭子さんにお話を伺った。福島さんは、普通の主婦として子育てを終えたのち、男女共生のあり方について学ぶ機会を得て、それを地域に活かしたいと、子育て支援のボランティアや町会活動に加わった。



あいの会のお弁当作りの様子

蟻ヶ崎西町会は、約800世帯のうち、定住世帯と流動世帯が半々であり、高齢者のみの世帯も多い。平成6年に女性初の町会長となった福島さんと彼女を支えた人々は生活に根

ざした女性ならではの視点から、福祉を「弱者を助けるただ働きのボランティア」ではなく、「すべての人々の暮らしの質を高めるもの」と捉えて活動し、平成9年、「福祉の町づくり宣言」を制定した。そこでは「町会は家であり、道路は各家をつなぐ廊下、各家はそれぞれの部屋。ひとりひとりが主役でお互いが自己を高めあう町づくりを目指す」とうたっている。

町会では毎月1回定例会を開き、町内の問題について話し合いが行われる。すべてを行政に頼るのではなく、自助・共助・公助に分けて考え、自分たちでできることは自分たちで解決するという仕分けを確立してきた。町会バックアップのもとに「あ・うんの会」という共助の任意団体を作り、有償でお年寄りの困っている事を助けられる人が請け負う仕組みを作った。

また、任意団体の活動もさかんであり、介護保険に頼らないための宅幼老所「愛ぶんぶん」はお年寄りが集まり、組紐人形を作製しながら和気あいあいと過ごす居場所となっている。コミュニティビジネスとしてお弁当作りをする「あいの会」の大澤さんは80歳を越えているが会計も担当している。「年金以外のお金がもらえるのは嬉しいけれど、一番の喜びは仕事の張り合い。」と大澤さんは言う。生きがいとは、自分が社会の一員として認められ、みんなの役に立ち喜んでもらっていると実感する事なのであろう。このような身近な福祉活動は、平成10年に松本市の「地域福祉づくり先進モデル町会」として選定された。少子高齢化の今、女性の視点が求められているのではないだろうか。

持続可能な松本平創造カンパニーわおん

連絡先 TEL/ FAX 050-3004-2388
URL <http://waon.nagano.blog.jp/>

この団体の代表の山田勇さん直美さん夫妻は、以前、滋賀県で「環境学び舎(や)わのたね」という団体を作り活動していた。二人は大学で環境科学を学び、自然環境問題を解決したいと考えていた。二人が環境問題に関心を持ったきっかけは偶然にも同じで、小学校時代に読んだマンガ「地球SOS」だったという。結婚を機に勇さんの実家である塩尻に転居。そして、ここ松本平での新たな活動が始まった。

「環境教育・こども体験活動」と「地域コーディネート」の2点を活動内容としている。

環境・こども分野の活動目的は、身近でできる自然体感を通して環境問題への意識の向上を広げること。近所の公園でも楽しめる親子自然観察会を開き、葉っぱの匂いをかいだり虫眼鏡で観察したり、ネイチャーゲームをしたりする。子供の目線で見れば草も十分に遊びのタネ。素直な感性で応える子供の姿は微笑ましい。参加した保護者も新たな発見に子供より楽しむ。また今年の春から、他の団体との協力のもと、子供の冒険遊び場を作る目的で「プレーパークをつくる会」を立ち上げた。ここでは「ケガも自分の責任」とし、危険であっても「危ない」と

と制止せず体験して身に付けることを目指している。9月に塩尻で行なった時は約150人が訪れた。親が黙って見ている訓練も必要だが、継続して経験を重ね、子供が自ら遊びを発展させられるようになって欲しいと、直美さんは話す。

地域コーディネート分野では、情報発信を事業としている。滋賀県に比べ団体の情報発信の場が少なく、情報誌の必要性を感じたと



自然観察会にて 興味津々なこども

いう。県の「地域発！元気づくり支援金」を獲得し、今年9月には「げんすけがゆく」という無料冊子を創刊。カラーA4判で8ページにわたるもので、団体の活動やイベント情報、情報交流会の開催の様子などを載せている。ロゴやオリジナルキャラクターがかわいい。

山田さんは「活動を始めて1年。情報を提供してくれる方、情報誌と一緒に作ってくれる方を探しています。メーリングリストに入ってくれる方も募集中。模索しながら、継続することで理解を広げていきたい」と話していた。

輝く団体、突撃レポート



姉妹都市である高山市の市民活動をご紹介します。

高山市から来られた松本市市民生活課協働推進係 坂下信夫さんのレポートです。

～ デイサービス NPO 法人りびんぐ～

代表の山下ちはるさんにお話をうかがいました。

「団体名の『りびんぐ』は、『living』から名付けました。『気楽に寄れる町のたまり場』と言う意味での『居間』と、『いきいき生きる』という両方の意味を持ちます。『良いところが伸びている』『役割がある』『笑顔である』という理念で、一人ひとりを大切に作る小さなデイサービスです。」と..。

代表の山下ちはるさんは看護師として病院に勤務していました。人生の終盤を迎える場面を看取るうちに、人がいきいきと生きるため



託児所との交流

に、自分は何ができるかを考えるようになったといします。

模索した結果、2年をかけて賛同者を集め、「このゆびとまらまい会」(高山弁で「この指とまれ」の意)を発足し、デイサービスを立ち上げることになりました。人材や、場所の確保、また資金集めなどに苦労を重ね、平成16年に活動を開始、翌年、法人格を取得しました。

「りびんぐ」は年齢、障害に関わらず、住み慣れた地域でその人らしく生活し続けられるようにと介護保険デイサービス事業を展開しているほか、身体障害者デイサービス、障害児も含む託児事業、保険外デイサービス、保険外訪問介護、福祉有償運送の事業を行っています。

様々な紆余曲折の中で、特に苦労したのは行政へ理解を求める事と、それにまつわる手続きとのこと。それぞれの

事業許可を得るために、ひとつひとつ異なる管轄へ交渉が必要で、縦割り行政の壁を強く感じたそうです。

現在、33歳から78歳のスタッフ計14名で、利用者20名の皆さんをお迎えしています。利用者の方は2歳から95歳までと幅広いのですが、“子どもと過ごすことで癒される”との感想が多いそうです。

人が最後まで自分らしく生きるためには「寝たきりにならない」「ぼけない」でいることが大事です。そして、そのために自分で出来ることは自分で行い、「楽しみを待つ」という精神的豊かさが大切だと考えています。

お茶を淹れ合う「お互い様のリハビリ」から始まる自立支援と、「お料理」や「年賀状作り」などのレクリエーションの充実のため、地域の方々や、他の団体のみなさんと連携して活動をしています。



手話サークルとの交流

そして、「そこからまたお互いの視野を広げ、再創造へとつなげていきたい」と語ってくれました。

《 問合せ 》

〒506 - 0007 岐阜県高山市総和町3丁目49番地1
特定非営利活動法人りびんぐ 代表：山下ちはる
Tel : 0577-32-7283 Fax : 0577-32-7285
E - mail : living0201@earth.ocn.jp

“Merry X'mas” 「ふれあいサロン」 クリスマス特集

12月11日(金)

12:00~13:00

サポートセンターにて



サポートセンターにサンタがやってくる!?
障害者就労施設の
クリスマス商品を販売します!!
手作りクッキー、パン、ケーキ・・・
手芸品、木工品のおもちゃなど、
プレゼント商品もあります
喫茶もできますので、ぜひ足を運んでくだ
さいね!

資金貸付のご案内!

市民活動団体の立ち上げや組織の運営にかかる資金の貸し付けをしています。

対象 市民活動を行う団体(法人格の有無は問いません。)

融資額 上限 300万円

金利 固定 2~3%

返済期間 3年以内

問合せ NPO夢バンク

(026-269-0015)へ



イベント情報をお寄せください!

センター通信やホームページにて、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。
多くの皆さんから、多くの情報をお待ちしています。



～講座：ごみから始める?温暖化対策～

身近な課題のごみ問題や温暖化。分かっていても便利で快適な生活からなかなか抜け出せないのが現実。講師の森口さんに「ごみとリサイクルと温暖化対策」というテーマで最新の情報と分析を交えたお話をさせていただきます。

日 時：11月29日(日)

基調講演 13:10～14:00

討論会 14:10～16:00

場 所：松本勤労者福祉センター 大会議室

参加費：無料

問合せ：松本市環境清掃課 TEL:0263-47-1096 (直通)

E-mail:kankyo-s@city.matsumoto.nagano.jp

楽団 ケ・セラの

～ミュージックフェスティバル～

知的ハンディを乗り越え音楽を通して自立を目指す、楽団ケ・セラがミュージックフェスティバルを行います。曲目は「瑠璃色の地球」「フニクリ・フニクラ」「たのしい日曜日!!」「新世界」「深山りんどう」などです。ぜひ、お越しください。

日 時：11月29日(日)

開場 13:30～ 開演 14:00～

場 所：松本市音楽文化ホール(主ホール)

入場料：1000円

問合せ：NPO法人 ケ・セラ

TEL:0263-57-6329

E-mail:email@npo-que-sera.org

～松本地方における難民受け入れにか かる第1回シンポジウム～

松本地方で難民を受け入れようという活動を行っている、信州発国際貢献の会が、「地方都市での難民受け入れ」について、初めてシンポジウムを開きます。

日 時：12月5日(土)

第一部 10:00～12:30

第二部 14:00～16:30

場 所：本町ホール(松本市時計博物館4階)

問合せ：信州発国際貢献の会 事務局

TEL:0263-87-5787

FAX:0263-25-4907

～2009 長野県学童保育研究集会～

「子どもの力は学びあってこそ育つ」～いっしょにハッピーに生きようぜ!～をテーマに情勢の変化に学童保育はどう対応していくべきか?社会が変わっても変わらない大事なものは何かを学びましょう。

期 日：12月13日(日)

日 程：9:30～10:00 受付開始

10:00～10:15 基調報告

10:15～10:30 実践報告

10:30～12:00 記念講演

12:00～13:00 昼食

13:00～16:00 分科会

講 師：金森俊朗さん

場 所：松本市勤労者福祉センター

入場料：無料

問合せ：長野県学童保育連絡協議会

TEL:0263-53-7231



～親子料理教室～

調味料に頼らない本物のおいしさを知ってもらうために子どもと一緒に料理を作りませんか?一回目はピザなど4種類を、二回目は手作り豆腐など3種類を作ります。ぜひご参加ください!

日 時：一回目 12月19日(土) 10:00～13:00

二回目 1月16日(土) 10:00～13:00

場 所：南部公民館(なんなん広場)

参加費：1組 1000円/1回

問合せ：南部公民館

TEL:0263-26-1083



編集後記

早いもので今年ももうすぐ終わりですね。皆さんはどんな1年でしたか? 私は山あり谷あり、いろんな意味で人生の節目の1年でした。お陰様で多くの方々に出会い、支えられ、感謝を深く感じた年でもありました。この感謝の気持ちを忘れずにこれからを過ごしたいと思っています。

皆様にとって、来年も実り多き年となりますように。

(K.O)